はじめに

この設定ガイドは、Alarmboxアプリケーションを使用するために、事前に必要な設定方法について記述しています。この設定を実施することによって、Alarmboxアプリケーションを有効に使用することができます。必要な設定は以下となります。

－専用のページレイアウトを使う
－権限セットの設定
－タブのカスタマイズ

１．専用のページレイアウトを使う

Alarmboxアプリケーションでは、専用のページレイアウトをご用意しています。
【Lightning Experience】をご利用の場合は、以下の手順で設定ください。 【Salesforce Classic】をご利用の場合は【Lightning Experience】を読み飛ばしてください。

【Lightning Experience】

１．「設定」 から、「クイック検索」 ボックスに「ページレイアウト」と入力し、[オブジェクトマネージャ] を選択します。



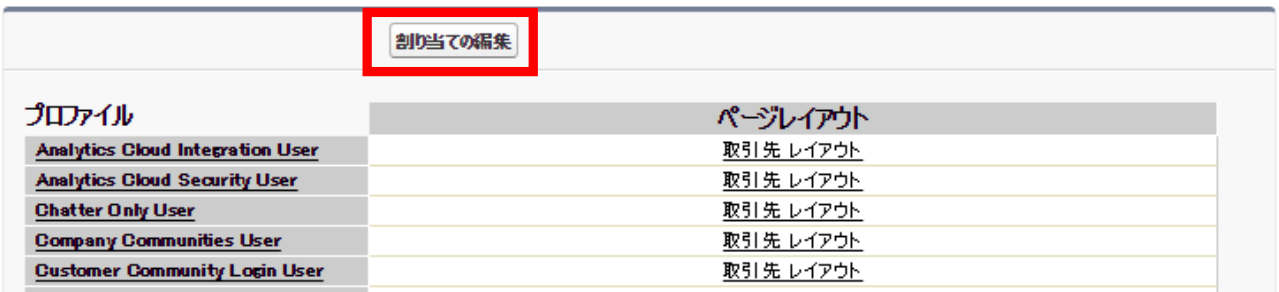
2．リストより「取引先」を押下して「ページレイアウト」を選択します。



3．画面右上の「ページレイアウトの割り当て」を押下してレイアウトの割り当て画面に遷移します。



4．「割り当ての編集」ボタンを押下して編集画面に遷移します。



5．Alarmboxアプリケーションを利用するユーザのプロファイルを
「Account（Alarmbox）」に変更して保存してください。



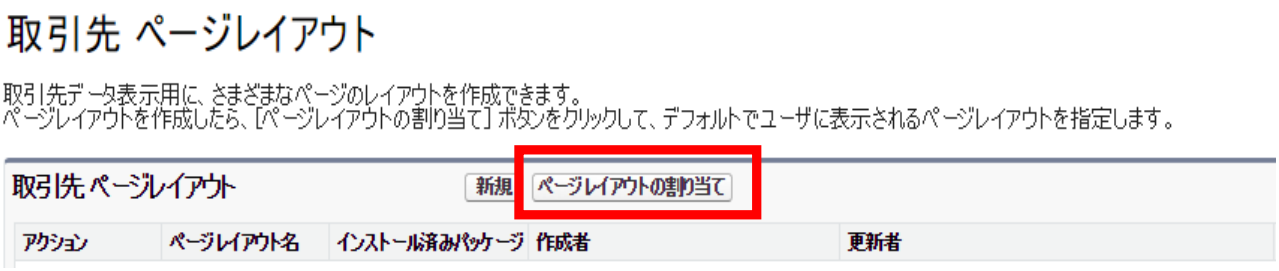


【Salesforce Classic】

1．「設定」 から、「クイック検索」 ボックスに「ページレイアウト」と入力し、
「カスタマイズ　－　取引先　－　ページレイアウト」 を選択します。



2．画面右上の「ページレイアウトの割り当て」を押下してレイアウトの割り当て画面に
遷移します。



3．「割り当ての編集」ボタンを押下して編集画面に遷移します。



4．Alarmboxアプリケーションを利用するユーザのプロファイルを
「Account（Alarmbox）」に変更して保存してください。





2．権限セットの設定

Alarmboxアプリケーションでは、権限の設定を権限セットで行います。Alarmboxアプリケーションを利用するユーザには必ず権限セットを割り当てる必要があります。
【Lightning Experience】をご利用の場合は、以下の手順で設定ください。 【Salesforce Classic】をご利用の場合は【Lightning Experience】を読み飛ばしてください。

【Lightning Experience】

1．「設定」 ＞ 「管理」 ＞ 「ユーザ」 ＞ 「権限セット」 の順にクリックします。



2．新規で権限セットを作成する場合は「新規」ボタンをクリックして、「表示ラベル」に「Alarmbox」と入力して保存します。既存の権限セットに追加する場合は、追加する権限セット名をクリックしてください。





3．権限セット画面で、「オブジェクト設定」項目をクリックしてください。



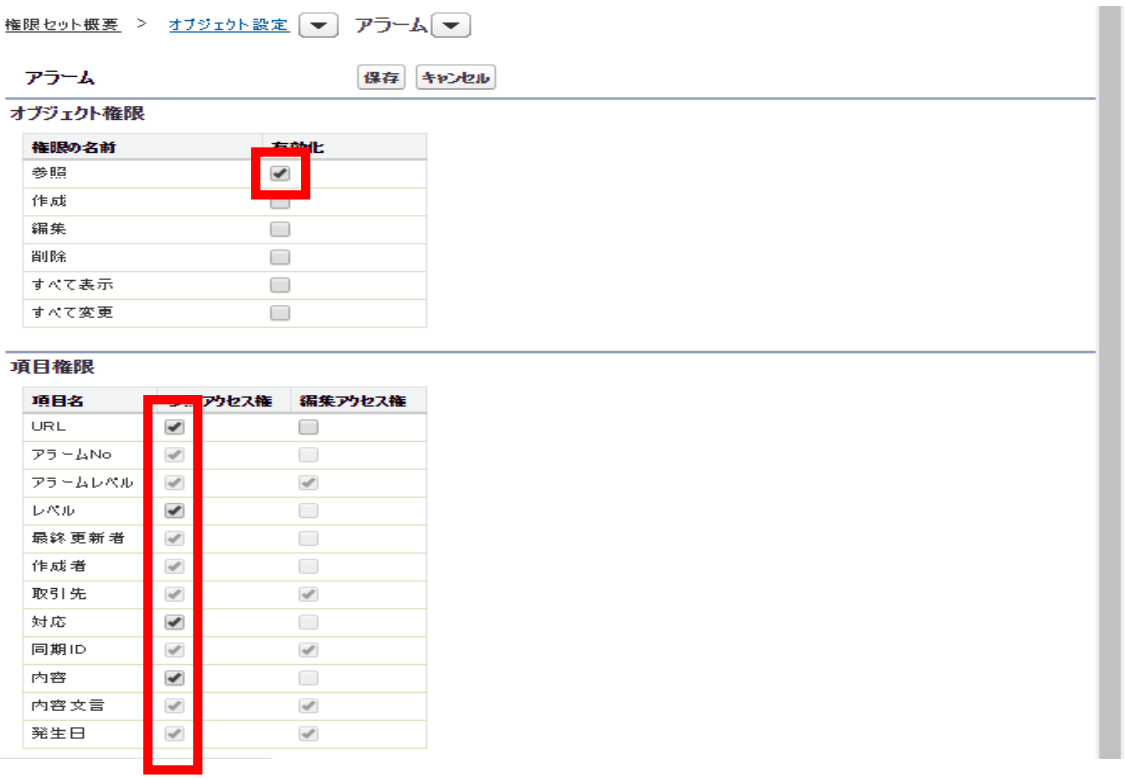
「Alarmboxホーム」「アラームの設定」の「利用可」「参照可能」権限をセットして保存してください。





「アラーム」「信用状況」の「オブジェクト権限」欄の「参照」有効化。「項目権限」の「参照アクセス権」を全てチェックして保存してください。

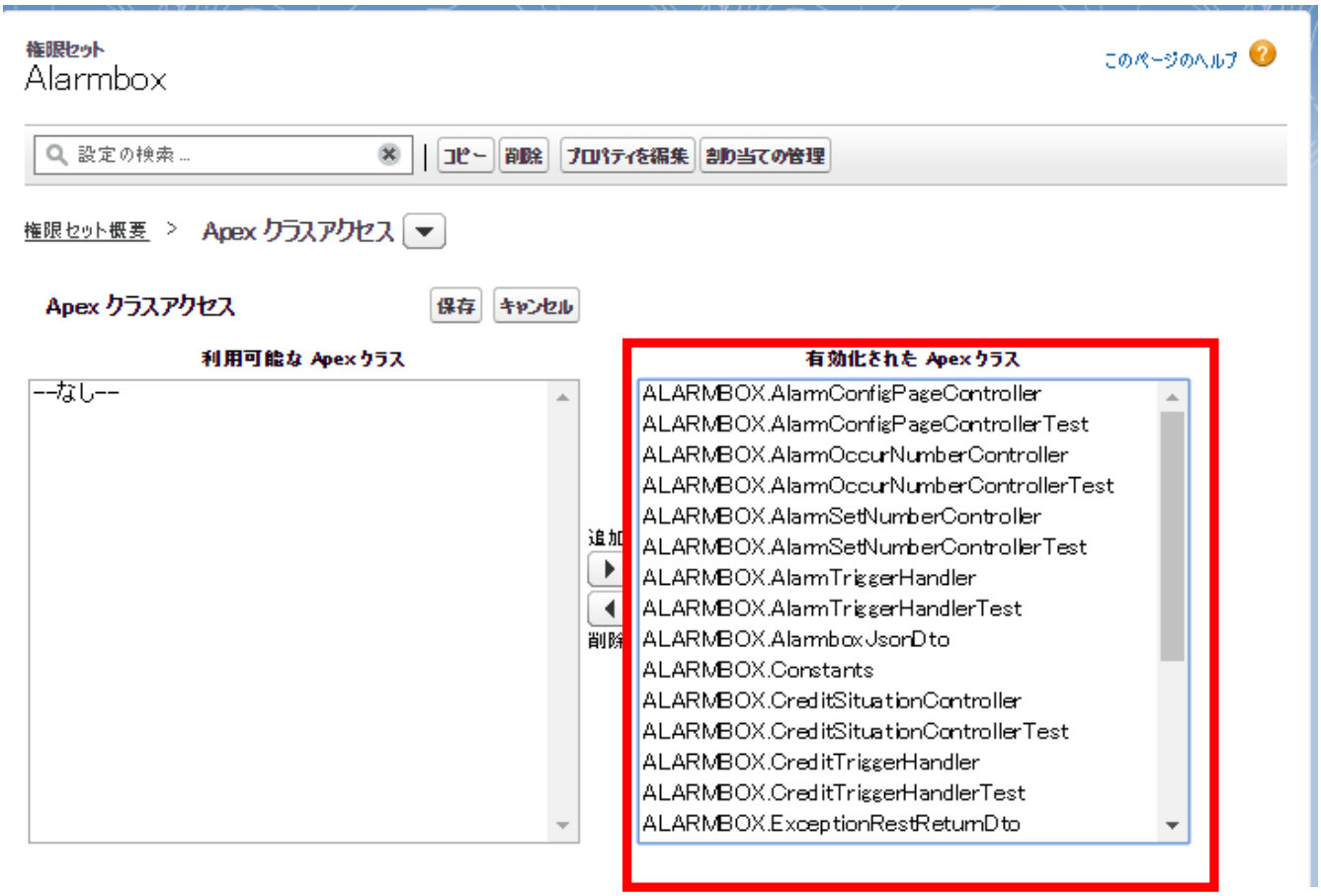




4．権限セット画面で、「Apex クラスアクセス」項目をクリックしてください。
下記項目を全て追加して保存してください。

ALARMBOX.AlarmboxJsonDto
ALARMBOX.AlarmConfigPageController
ALARMBOX.AlarmConfigPageControllerTest
ALARMBOX.AlarmOccurNumberController
ALARMBOX.AlarmOccurNumberControllerTest
ALARMBOX.AlarmSetNumberController
ALARMBOX.AlarmSetNumberControllerTest
ALARMBOX.AlarmTriggerHandler
ALARMBOX.AlarmTriggerHandlerTest
ALARMBOX.Constants
ALARMBOX.CreditSituationController
ALARMBOX.CreditSituationControllerTest
ALARMBOX.CreditTriggerHandler
ALARMBOX.CreditTriggerHandlerTest
ALARMBOX.ExceptionRestReturnDto
ALARMBOX.RegisterProcessor
ALARMBOX.ReleaseProcesser
ALARMBOX.Rest
ALARMBOX.RestProcessor
ALARMBOX.RestReturnDto
ALARMBOX.RestTest
ALARMBOX.RestUtils
ALARMBOX.SynchronizeProcessor
ALARMBOX.TestDataFactory





5．権限セット画面で、「Visualforce ページのアクセス」項目をクリックしてください。
下記項目を全て追加して保存してください。

ALARMBOX.AlarmboxHome
ALARMBOX.AlarmConfigPage
ALARMBOX.DeleteError



6．「割り当ての管理」 ＞ 「割り当てを追加」 ボタンをクリックします。



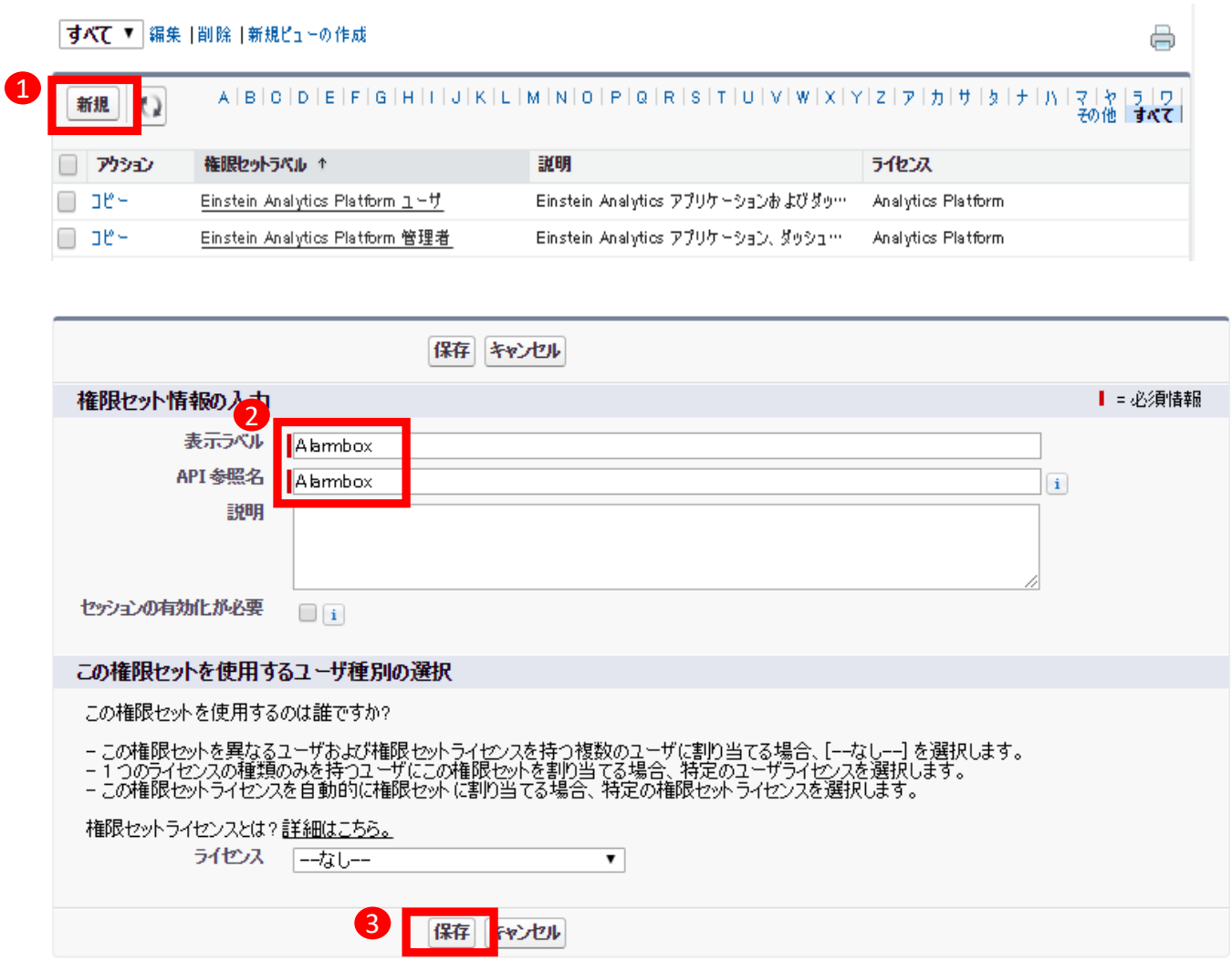
7．権限セットを割り当てるユーザにチェックを入れ、「割り当て」 ボタンをクリックします。

【 Salesforce Classic 】

1．「設定」 ＞ 「ユーザの管理」 ＞ 「権限セット」 ＞ の順にクリックします。



2．新規で権限セットを作成する場合は「新規」ボタンをクリックして、「表示ラベル」に「Alarmbox」と入力して保存します。既存の権限セットに追加する場合は、追加する権限セット名をクリックしてください。



3．権限セット画面で、「オブジェクト設定」項目をクリックしてください。

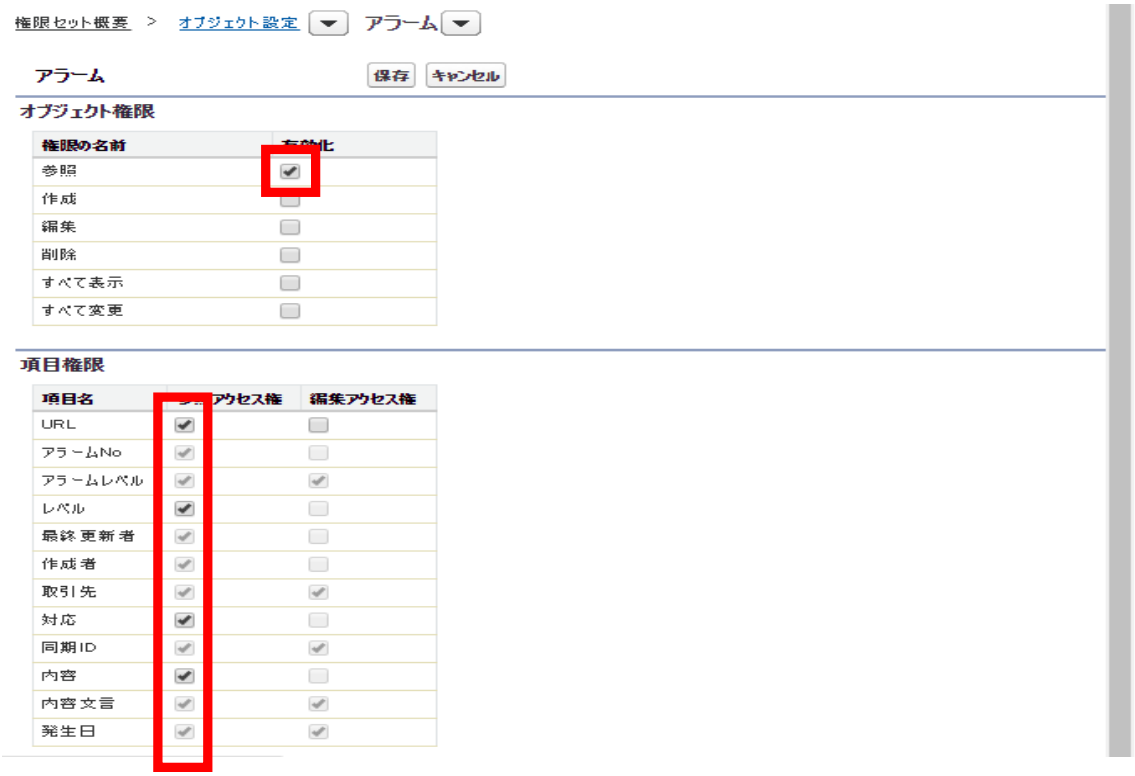


「Alarmboxホーム」「アラームの設定」の「利用可」「参照可能」権限をセットして保存してください。



「アラーム」「信用状況」の「オブジェクト権限」欄の「参照」有効化。「項目権限」の「参照アクセス権」を全てチェックして保存してください。

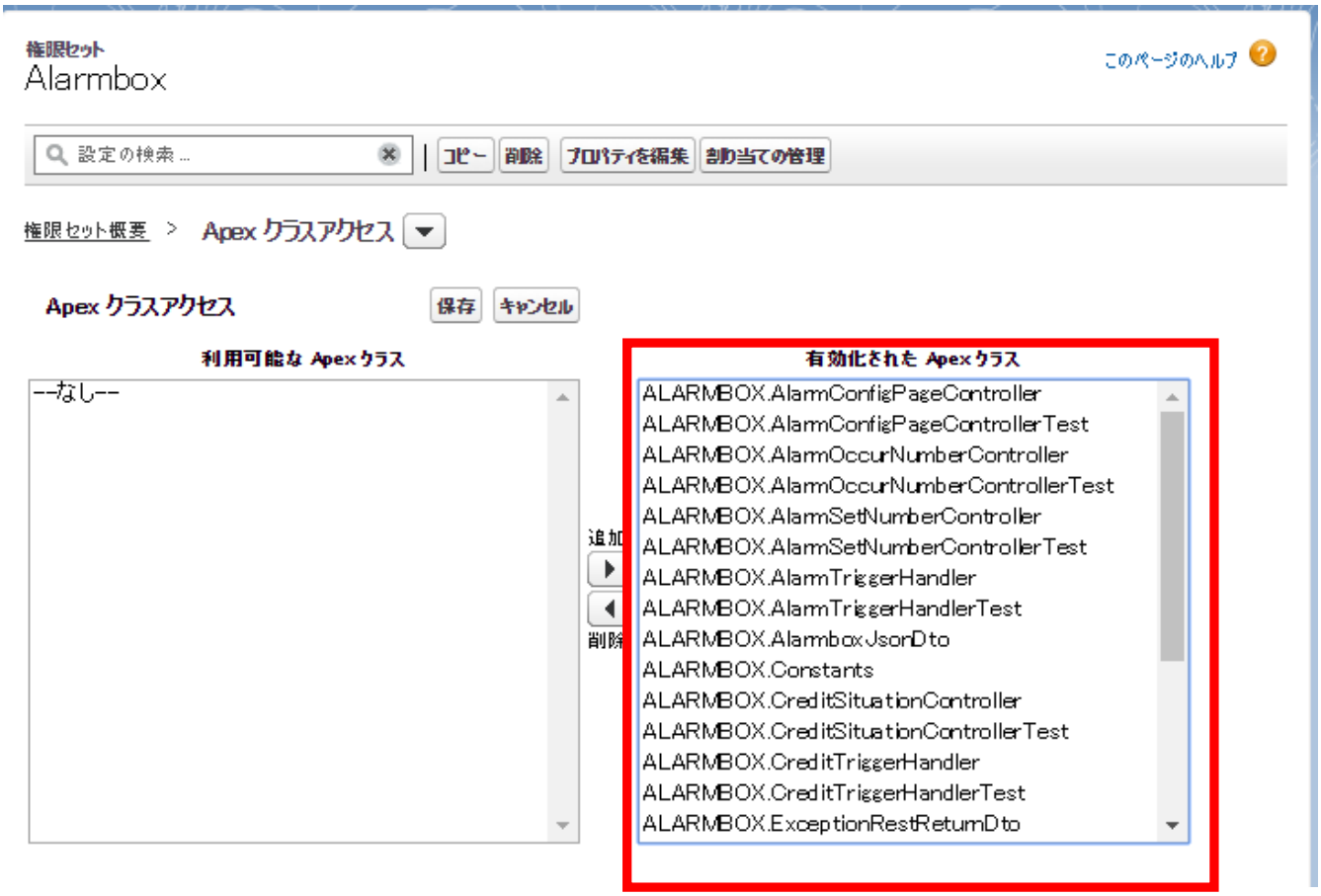



権限セット概要 > オブジェクト設定 アラーム
アラーム
保存 キャンセル
オブジェクト権限
権限の名前
有効化
参照
作成
編集
削除
すべて表示
すべて変更
項目権限
項目名
アクセス権
編集アクセス権
URL
アラームNo
アラームレベル
レベル
最終更新者
作成者
取引先
対応
同期ID
内容
内容文言
発生日

4．権限セット画面で、「Apex クラスアクセス」項目をクリックしてください。
下記項目を全て追加して保存してください。

ALARMBOX.AlarmboxJsonDto
ALARMBOX.AlarmConfigPageController
ALARMBOX.AlarmConfigPageControllerTest
ALARMBOX.AlarmOccurNumberController
ALARMBOX.AlarmOccurNumberControllerTest
ALARMBOX.AlarmSetNumberController
ALARMBOX.AlarmSetNumberControllerTest
ALARMBOX.AlarmTriggerHandler
ALARMBOX.AlarmTriggerHandlerTest
ALARMBOX.Constants
ALARMBOX.CreditSituationController
ALARMBOX.CreditSituationControllerTest
ALARMBOX.CreditTriggerHandler
ALARMBOX.CreditTriggerHandlerTest
ALARMBOX.ExceptionRestReturnDto
ALARMBOX.RegisterProcessor
ALARMBOX.ReleaseProcesser
ALARMBOX.Rest
ALARMBOX.RestProcessor
ALARMBOX.RestReturnDto
ALARMBOX.RestTest
ALARMBOX.RestUtils
ALARMBOX.SynchronizeProcessor
ALARMBOX.TestDataFactory





5．権限セット画面で、「Visualforce ページのアクセス」項目をクリックしてください。
下記項目を全て追加して保存してください。

ALARMBOX.AlarmboxHome
ALARMBOX.AlarmConfigPage
ALARMBOX.DeleteError



6．「割り当ての管理」 ＞ 「割り当てを追加」 ボタンをクリックします。



7．権限セットを割り当てるユーザにチェックを入れ、「割り当て」 ボタンをクリックします。

3．タブのカスタマイズ

パッケージをインストールすると、中に「Alarmbox」というタブが含まれています。
このタブをナビゲーションに追加してご利用ください。

【Lightning Experience】

アプリケーションランチャーを起動して「Alarmbox」というメニューを選択してください。



【 Salesforce Classic 】

アプリケーションメニューより、「Alarmbox」を選択してください。

